

新料金早見表（税込）

口径13mmの水道料金							
使用水量 (㎡)	金額 (円)	使用水量 (㎡)	金額 (円)	使用水量 (㎡)	金額 (円)	使用水量 (㎡)	金額 (円)
0	660	11	1,303	21	2,238	31	3,217
1	715	12	1,397	22	2,332	32	3,355
2	770	13	1,490	23	2,425	33	3,492
3	825	14	1,584	24	2,519	34	3,630
4	880	15	1,677	25	2,612	35	3,767
5	935	16	1,771	26	2,706	36	3,905
6	990	17	1,864	27	2,799	37	4,042
7	1,045	18	1,958	28	2,893	38	4,180
8	1,100	19	2,051	29	2,986	39	4,317
9	1,155	20	2,145	30	3,080	40	4,455
10	1,210						

口径13mmの場合の増加額

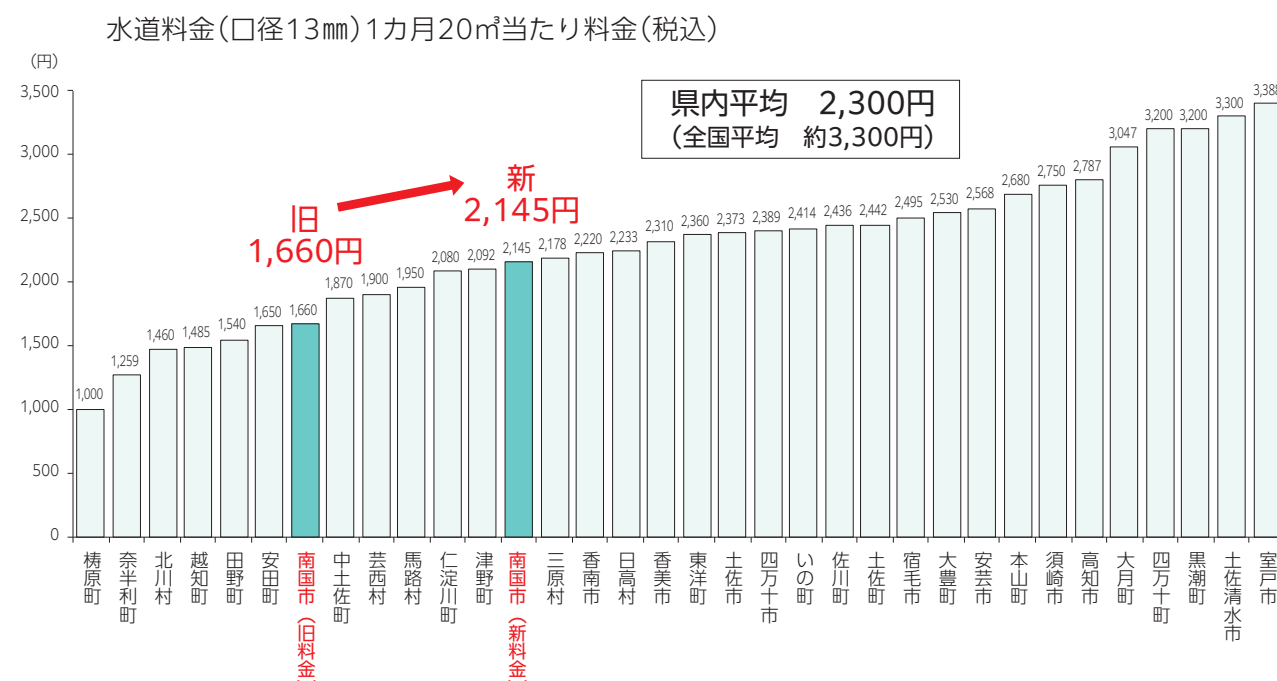
使用水量	旧料金	新料金	増加額
10㎡の場合	890円	1,210円	320円
20㎡の場合	1,660円	2,145円	485円
30㎡の場合	2,430円	3,080円	650円

その他の口径の料金早見表は、市のホームページをご確認ください。



水道料金の県内他市町村との比較

今回の改定により、口径13mmの水道料金（1カ月に20㎡使用した場合）は、県内市町村のうち12番目に低い金額となります。



いつから新料金になりますか？

令和7年5月分(4月ご使用分)から新料金となります。

5月分(例:毎月1日検針の場合)

検針日	5月1日
使用期間	4月2日～5月1日
納付書払いの場合	5月下旬発送
口座振替払いの場合	6月10日振替
納期限	6月30日

今後も引き続き、漏水対策や業務の見直しなど一層の経営努力を行っていきます。
水道水の安定供給、水道施設の耐震化を進めるために必要な改定ですので、皆さまのご理解とご協力をお願いします。



水道料金改定のお知らせ

令和7年5月分(4月ご使用分)から水道料金を改定します

なぜ水道料金の改定が必要なのですか？

現在、南国市では南海トラフ巨大地震に備え、老朽化した水道管や施設の耐震化に取り組んでいます。これらの取組には多額の費用が必要になりますが、水道料金収入は給水人口の減少などにより年々減っています。一方で物価高騰により水道水を作る経費は増加しており、経営状況は大変厳しいものになっています。

今後着実に耐震化工事を進め、将来にわたり安全な水道水を安定してお届けするため、水道料金を平均22.1%値上げします。水道を使用される皆さまにはご負担をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いします。

新水道料金表（税抜）

種 別	料 金（1カ月につき）												
	基本料金			従 量 料 金（1㎡につき）									
				1～10㎡		11～30㎡		31～60㎡		61～100㎡		101㎡～	
一般用	口径	旧料金	新料金	旧料金	新料金	旧料金	新料金	旧料金	新料金	旧料金	新料金	旧料金	新料金
	13mm	410円	600円	40円	50円	70円	85円	105円	125円	130円	160円	155円	190円
	20mm	1,020円	1,100円										
	25mm	1,460円	1,760円										
	30mm	2,200円	2,640円										
	40mm	4,120円	4,950円										
	50mm	6,950円	8,340円										
	75mm	14,600円	17,520円										
	100mm	23,300円	27,960円										
150mm	47,100円	56,520円											
特別用	一般用に同じ			旧料金 250円									
				新料金 300円									

【改定後の水道料金の計算例】 メーター口径13mmで1カ月に20㎡使用の場合

$$\left(\frac{600\text{円}}{\text{基本料金}} + \frac{50\text{円}/\text{㎡} \times 10\text{㎡} + 85\text{円}/\text{㎡} \times 10\text{㎡}}{\text{従 量 料 金}} \right) \times \frac{1.1}{\text{消費税}} = \frac{2,145\text{円}}{\text{水道料金}}$$

(1円未満の端数は切り捨て)

端数処理の方法を変更します

今回の値上げは水道料金のみで、**下水道料金（下水道使用料と農業集落排水施設使用料）は変更ありません。**ただし、これまで二捨三入（※）としていた1円の位の端数処理は、水道料金・下水道料金ともに1円未満切り捨てに変更します。

※二捨三入：0～2円→0円、3～7円→5円、8・9円→10円とする

【下水道使用料の計算例】 下水道使用量が13㎡の場合

$$\left(\frac{1,000\text{円}}{\text{基本料金}} + \frac{107\text{円}/\text{㎡} \times 3\text{㎡}}{\text{従 量 料 金}} \right) \times 1.1 = 1,453.1\text{円} \rightarrow \text{5月分から1,453円}$$

(4月分まで1,455円)